

運 営 推 進 会 議 報 告 書

開催予定日時 令和2年09月30日(水)		時 分～	時 分
資料配布者		議 題	
利用者	1名	・デイサービス事業報告	
学職経験者	1名	・コロナウイルス感染予防対策について	
市職員	1名	・避難訓練について	
地域包括支援センター	1名	・ヒヤリハット報告	
事業所	1名		
資料配布内容			
<p>1. 運営状況報告</p> <p>登録者数：令和2年9月19日時点の利用者数・介護度別</p> <p>利用者合計：107名</p> <p>介護度：介護1（34名）、介護2（11名）、介護3（2名）、介護4（0名）、介護5（1名）</p> <p>支援1（18名）、支援2（22名）、事業対象者（19名）</p> <p>従業員数：管理者1名、生活相談員2名、看護師2名、理学療法士1名、介護士5名、運転士1名</p> <p>2. コロナウイルス感染予防対策について</p> <p>当事業所ではコロナウイルス感染予防のため、利用者様には自宅で体温を計っていただき、37.5度以上の発熱があった方にはご利用を控えていただいています。送迎車、運動機器、椅子やテーブルの消毒作業を行い、常時窓を開けての換気、空気清浄機を使用、ご利用者様には送迎車乗車前に手指の消毒、来所時の手洗い・うがい、マスクの着用のご協力、来客の方には検温、記名、手指の消毒、マスクの着用をお願いしています。当職員も出勤前の検温、手洗い・うがい、手指の消毒を行っています。皆様がお元気に来所されるよう細心の注意を払い感染予防対策を行っています。</p> <p>3. 避難訓練について</p> <p>年に2回、避難訓練を行っています。今年度は4月と10月に行います。4月は震度4の地震想定訓練を行いました。10月は隣の山火事がおこり、一時避難所まで避難を行う予定です。</p> <p>4. ヒヤリハット報告</p> <p>① フロア内移動時</p> <p>② 低床ベッドからの起き上がり時</p> <p>③ 送迎時</p>			

※運営推進会議はコロナウイルス感染予防対策といたしまして、今回は開催を中止させていただきました。会議で予定しておりました報告内容を参加予定者に配布し、ご意見をいただきました。

5. ご意見・ご質問

・地震が発生した場合の連絡手段や帰宅方法について事前に家族と共有していることはありますか。また帰宅できない利用者（家族と連絡がとれない、独居で家が全損壊している）がいた場合の避難先や備蓄など想定していることがあれば、教えていただきたいです。（瀬戸市役所 健康福祉部 高齢者福祉課）

→利用者様の緊急連絡先を契約時にお聞きしています。連絡がとれない、家が全損壊の場合は、事業所より緊急避難所（下品野小学校）まで避難をしますので、緊急避難所までのお迎えをお願いしていきます。今後、ご家族様に書面でお伝えしていきます。

・毎回細やかに利用者様の件でご報告いただき感謝しております。担当の利用者様もデイに行くことを楽しみにされてみえます。運動を重視したプログラムは健常者でも良い負荷がかかるレベルのものと思っております。利用者様の中で要介護5の方がみえますが、個別的にどのような運動なのでしょう。か。（地域包括支援センターしなの）

→利用者様それぞれ負荷を変え、その方に合った負荷で運動をしていただいています。要介護5の利用者様ですが、はじめは退院直後で歩行も不安定、下肢筋力・体力も低下していましたが、個別訓練での運動はもちろんですが、マシンやサイクルチェアなどその方に合わせた負荷や運動量で取り組んでいただいています。現在は筋力・体力が向上され歩行状態も安定してきています。

・家では運動できないから、笑笑音に来て運動をして運動機能、生活機能が維持できていて嬉しい。加齢は止められないが、自分のことが自分でできていることが嬉しい。他利用者様と笑って話ができて、笑笑音に来ることが本当に楽しみ。人と関わりをもつことが1番大事だと思う。コロナは不安だが、消毒や換気などをしっかりしてくれているから、その点は安心している。（利用者I様）

→休みたいと思ったこともない、笑笑音に来ると身体の不調も忘れてしまうといつも笑顔で話していただきます。身体機能維持のため、運動を継続して、転倒なく安全に自宅で生活ができるよう今後も支援していきます。

・細やかな対応をされていて、いつも感心しております。避難訓練の内容ですが、近くに消防署があるので、消防署の協力を求めるのも良いのではと感じました。（民生子供委員）

→ご提案ありがとうございます。近くの消防署に協力していただき、安全に避難訓練が行えるよう相談してみます。

・マシンなどの消毒作業も細めにされていて大変だと思いますが、コロナウイルス感染予防対策をしっかりされていて良いと思います。利用者様の状態に合わせた運動を専門職と連携しながら運動を行われていることも、自立した生活を送るためには大切なことだと思います。（学職経験者）

→コロナウイルス感染予防対策は今後もしっかり行っていきます。利用者様が自宅での生活で困っている動作を個別訓練に取り入れ、しっかり取り組んでいただき、安全で安心した生活を送れるよう支援していきます。